

令和5年度

# 学校評価

## ＜学校教育目標＞

◎ 自然に学ぶ、心豊かな実籾っ子

## ＜めざす児童像＞

- ・よく考え、進んで物事のできる子
- ・豊かな心を持ち、協力できる子
- ・じょうぶな体で、ねばり強くがんばる子

## ＜合い言葉＞

「友に学び ちいきに学び 自然に学ぶ」



習志野市立実籾小学校

## 【項目 1】

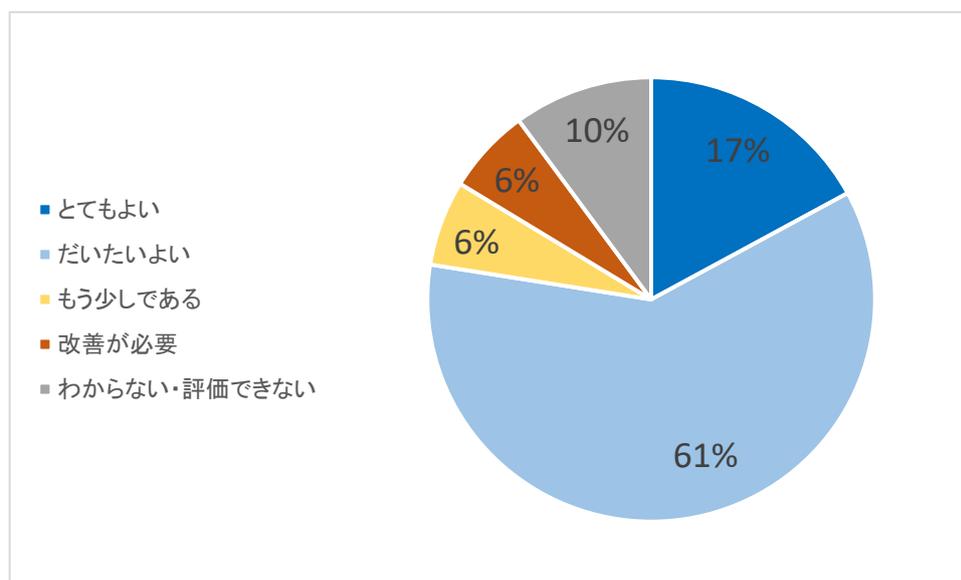
めざす児童像「よく考え、進んで物事のできる子」達成のため、学校では、基礎学力の向上・活用力育成のため「学習習慣確立」に向けた教育活動を行っている。

### 【教職員の自己評価・意見等】

- ・今取り組んでいること(朝読書・読書カード・ドリルタイム・eライブラリ)をこの先も継続して行うことで基盤ができると思う。
- ・それぞれの先生が取り組んでいることの共通理解、一般化を図ると良いと思います。
- ・学校全体で同じ形式で取り組める手立てがあると、学級差や学年差がつきにくいのでは。
- ・調査の結果で学習への関心が低いという結果が出ている。「わかる・できる・楽しい」という気持ちがないと学習習慣の確立にもつながらないため、指導の工夫をしていく必要がある。
- ・児童によって漢字や計算の基礎学力にかなりの差を感じる。人員が確保できれば、放課後に補習を行ったり、算数の少人数指導をしたりしたほうがよりよいと思う。
- ・朝のドリルタイムをもう少し有効に使えるようにしたいです。(系統性をもって取り組める内容を校内や学年で設定していくなど)
- ・先生方は、日々努力していると思います。しかし、まだまだ課題も多いのも現実なので、どうすればよいのかみんなで考えを出すべきだと思います。
- ・教育活動や教材研究に熱心な先生方が多いため。学習習慣の確立という意味では、まずは読書習慣を子供たちに身につけさせる必要がある。
- ・基本的な生活習慣が身につけていないことで学習に影響が出ている子も一定数いるのが課題である。

### 《保護者アンケート回答》

とてもよい	だいたいよい	もう少しである	改善が必要	わからない 評価できない 未記入	計
22人	78人	8人	8人	13人	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- 毎日適量の宿題がある。
- 音読、計算のカードなどは良いと思う。
- 先生がよく見てくれていると思う。
- 手のかかるであろう児童が多々いるだろう中(自分の子も含め)きめ細かい指導をしてくれていると感じているから。
- 毎日の音読計算の宿題が出ているのは習慣化として良いと思います。
- 子供が「授業が楽しい」と言っているので、子供の興味関心、好奇心を刺激する様な内容なのではないかなと感じています。
- 分からない場合でも、しっかり教えてくれる。
- 2学期の授業参観では、子供達が主体的に学習に取り組もうとしている姿が感じられました。発言しやすい雰囲気は先生と児童の関係の良さが伝わってきました。
- ◇よく、いつまでに宿題をやれば良いという宿題がでるのですが、毎日、少しでいいので出ないと全くやらなく、まとめて慌ててやり、親も見てあげるのに大変になるので、宿題を分けて出して欲しい。
- 先生によってバラツキがあるのではと思うことがあります。
- 上の子、下の子と通ってきて、担任の先生によってムラがある様に感じる。
- 学力が追い付いていかない子供に対してフォローすべき。1 教えてできる子と 10 教えないと出来ない子もいると思います。見捨ててはいけないと思います。家庭学習も大切なのは分かりますが、児童数が少なくなっているにも関わらずどうして手や目が回らないのでしょうか。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・宿題の量や質についての御意見が多く見られました。宿題につきましては、まだまだ改善しなければならない点や工夫の余地があります。本年度はデジタルドリルも新しいバージョンのものが導入され各担任が試行錯誤しています。タブレットの活用も含め、学校として系統立てて家庭学習を促していけるよう検討してまいります。量も含め、どのような宿題や家庭学習を課すことが、子供たちの学習習慣の確立、学力向上につながっていくのかを、再度検討してまいります。
- ・本年度、子供たちの学習習慣の確立、学力向上に向け、校内の学力向上委員会の中で基礎基本の強化を図るよう次年度の日課について検討を重ねています。朝のドリルタイムや読書の時間については、現在クラスの裁量に任せられるところが多くありましたが、次年度は、教育課程としての位置づけをより明確にし、年間の計画をもとに取り組んでいきます。御評価いただいていることをもとに、今後もよりよい方法を考え、子供たちの学力向上につなげていきたいと思っております。

## 【項目 2】

めざす児童像「じょうぶな体で、ねばり強くがんばる子」達成のため、学校では、「子供たちの基本的な生活習慣」育成に向けて、家庭と協力して、健康で安全な生活のための教育活動を行っている。

### 【教職員の自己評価・意見等】

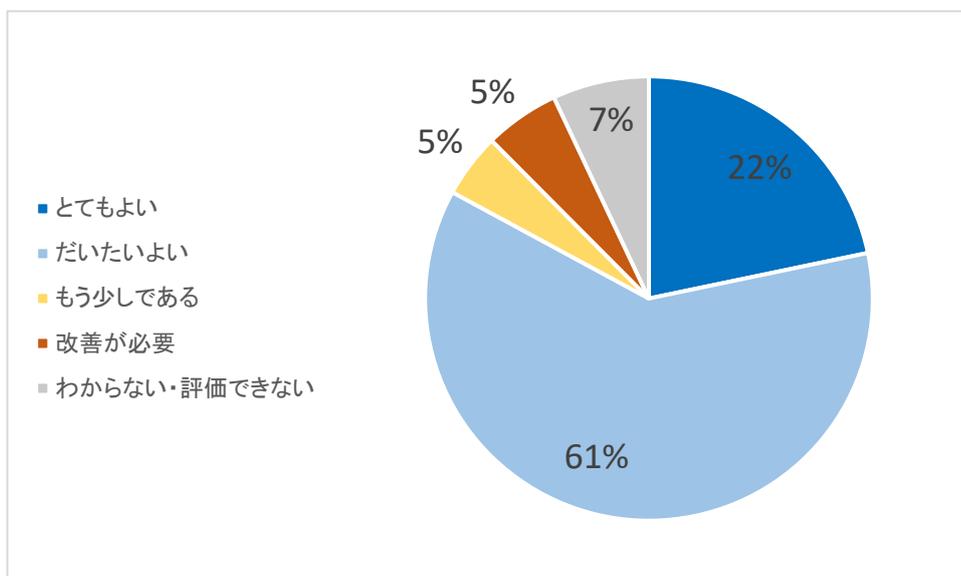
- ・休み時間に必ず外に行く時間を設ける。「ねばり強くがんばる子」についてはまだ対策が必要。(漢字テストを100点取れるまで取り組む・九九を覚えるまで取り組むなど)で諦めないことの大切さや諦めずにやったことは役に立つことを児童に実感させることが大切だと考える。
- ・家庭の協力を得たいが協力していただける環境なのかどうかの把握が難しい。
- ・ねばり強さが足りない児童が増えている印象。学校で指導していることも家庭での協力が得られず、

なかなか身につかないことがある。

- ・児童の寝る時間が遅い。ゆえに、集中力が続かない児童が多いと思う。
- ・保護者の協力がもう少しほしいのが現状だと思います。生活習慣が確立されていない子が多い。
- ・持久走記録会は、もう少しコースや時期、取り組み方法を精選する必要があると感じた。

#### 《保護者アンケート回答》

とてもよい	だいたいよい	もう少しである	改善が必要	〇わからない 評価できない 未記入	計
28人	79人	6人	7	9	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- 宿題など、しっかり見てくれている。「先生が～言ってたよ。」とルールを守ろうとする姿がみられる。
- ◇学校と言う決められた枠内で行動することで、基本的な生活習慣は確立されると思いました。その機能は果たしていると思います。ただ、家庭との連携については特別な何かがあるようには感じませんでした。
- ◇マラソン週間がなかった。
- 積極的に家庭と関わらない印象を受ける。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・マラソンについては、昨年度は希望者による朝マラソンを実施し、一昨年度は業間のマラソンを実施しておりました。今年度は体育の授業の中でマラソンに取り組んでまいりました。授業の中でじっくりと取り組んだことで運動量の確保ができました。大会については御意見が分かれるところですが、子供たちの様子を見ると、記録会として「自分の記録を高めていく」という目標設定をすることで高いモチベーションを維持できておりました。記録会の実施日については兄弟のいる保護者の方の御負担を考慮し同一日に行うのが良いと考えております。次年度は全学年が同一日に記録会を行えるよう調整してまいります。
- ・本校では、昼休みが業間休みのどちらかは外に出て元気に遊ぶこととしております。高学年の児童は、委員会活動等があって、できない日もありますが、積極的に外遊びをすることができるような働きかけを工夫してまいります。
- ・教職員からは、児童の生活リズムについての心配の声があがっています。御家庭と一緒に「早寝早起き朝ごはん」の習慣をつけていきたいと考えます。御協力をお願いいたします。

### 【項目 3】

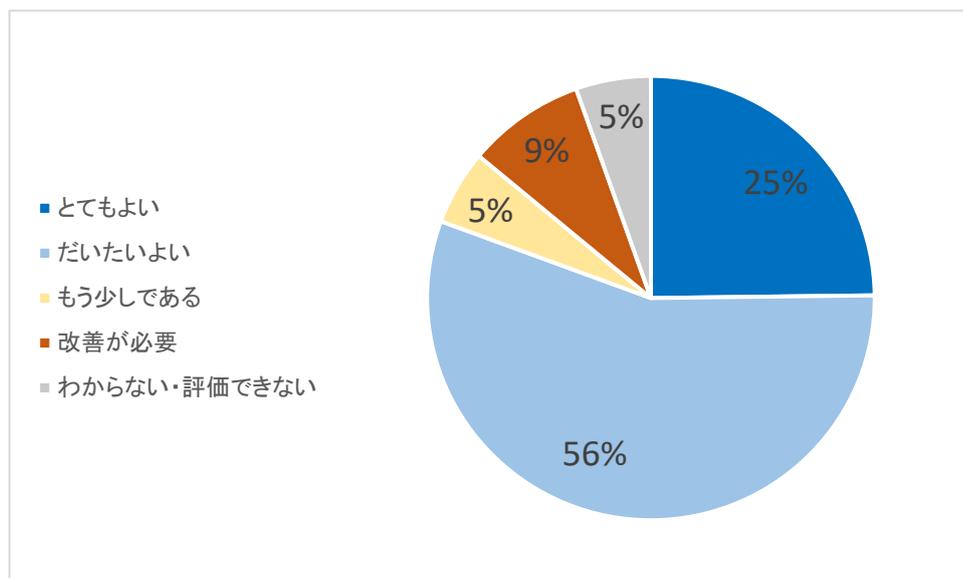
めざす児童像「豊かな心を持ち、協力できる子」達成のため、学校では、「いじめの未然防止・解消・教室内の人間関係作り、異学年交流、特別支援教育の充実」などの教育に取り組んでいる。

#### 【教職員の自己評価・意見等】

- ・ いじめの対応、教育相談の丁寧な聞き取りなど、しっかりと行えている。
- ・ どの先生も生徒指導で何かあるとすぐに報告や相談してくれている。
- ・ 児童が学びやすいクラス・環境を作ることができていると思う。また、特別な配慮が必要な児童でもクラス内で協力し、助け合う姿が見られる。この調子でさらに上を目指すことが大切だと考える。
- ・ 今年度は異学年交流も復活してよかったと思います。
- ・ 定期的な異学年交流、4組の児童との交流も毎日あり、児童同士の関わり合いがよく見られる。
- ・ 複数のいじめアンケートや、児童との個人面談を行っており、保護者とも連携をとりながら十分な対応ができていると思う。また、実習っ子タイム等で積極的に異学年交流も行っている。
- ・ 異学年交流について、実習っ子タイムで他の学年と楽しく遊ぶ姿が見られたと感じる。その後も、校内で交流した児童に会うと声をかける姿が見られた。今後も、積極的に活動を行っていくべきではないかと考える。
- ・ 知的学級としては、異学年交流を多く行っており、1年から6年での縦割りなど、様々な活動を行うことができた。
- ・ 4組、5組さんとの交流はこれからの時代には大切なことだと思います。学級内でもっと強調していかないといけないなと感じております。

#### 《保護者アンケート回答》

とてもよい	だいたいよい	もう少しである	改善が必要	わからない 評価できない 未記入	計
32人	72人	7人	11人	7人	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- いじめに関するアンケートを頻繁に行い、生徒の様子を良い意味でよく観察して下さり、良く取り組んでいると思います。その影響か、子供もいじめは良くないもの、人にこういうことをされたり、したりする言葉や行為が嫌なものなんだと認識付いているので、これからも頻繁に行なって頂けたらと思います。
- こどもに寄り添って下さる指導をして頂いてます。やはり、いじめ問題は親だけで解決するのは不可能。これからも学校で取り組んで頂けると助かります。
- 子供が学校に毎日すすんで通えている。
- 異学年の交流は良いと思う。
- 他学年の児童と交流することが多く、年上の子たちと接するいい機会がたくさんある。学校外でも会うと挨拶をしてくれたりするので、とてもいい雰囲気だと感じる。
- ◇一回、注意しただけでは、解決はしてないと思うので、もう少し先生方も大変だと思いますが、お願いしたいです。親世代の子供の頃と今の子供の考えてる事が違います。友達を取った、取られたになっていて、みんなと仲良く遊べる時代ではないようなので。
- ◇いじめアンケートだけでは、相手を嫌いだから等の理由で悪く書くことは簡単で、それぞれ同じことで嫌な思いをしてもアンケートに書く子、書かない子いると思います。後者の方に目をむけるべきです。いじめアンケートに書かれていたとして、では具体的に学校側はどのように対処していて、保護者には子供にどのようにするよう伝えればいいのかなど対策を提案すべきです。どこからがいじめなのかは難しい所はありますが、コロナ禍で人間関係を構築するのが難しかった年代と言えます。総合などの学習に力を入れ、いじめについて具体的に何がダメなのかなど VTR などを通しもっともっと、学習すべきではないでしょうか。
- 相手のことを考えず、責めるような声かけをする子や自分中心の考えをする子が多いように思います。先生の前では良い子に見せ、いないところで友達を傷つけてる子もいます。いじめアンケートは深いところには届いてないと思います。
- いじめアンケートに書いた者勝ちになっている。学校側が双方の意見を聞き平等に対応出来ていない。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・市や校内での取り組みとして、「先生あのね」（困ったこと、先生に聞いてほしいことを書く用紙）をもとにした教育相談を年3回、同じくいじめアンケートを年3回行っています。これら取り組みを行うことで、子供たちのトラブルや困っていることがわかる件数は多くあります。しかし、評価にもあるように「書かない子」もいるということを教職員全体で改めて意識し日々の見取りを行ってまいります。
- ・スクールカウンセラーや保健室など、担任以外の相談相手を周知し、助けてくれる大人が周りにいることを伝えていきます。スクールカウンセラーについては、保護者の方だけでなく子供も相談件数が増えています。予約が一杯の日もあり、勤務日数の増加の要望をしております。
- ・今回の評価を受け、全職員が教育者として子供たちの気持ちに寄り添った指導の在り方を考え、今後も精一杯取り組んでまいります。

## 【項目4】

学校は、子どもたちが一日を安全・安心して過ごせるように、落ち着いた校舎内外の学習環境づくりに努めている。

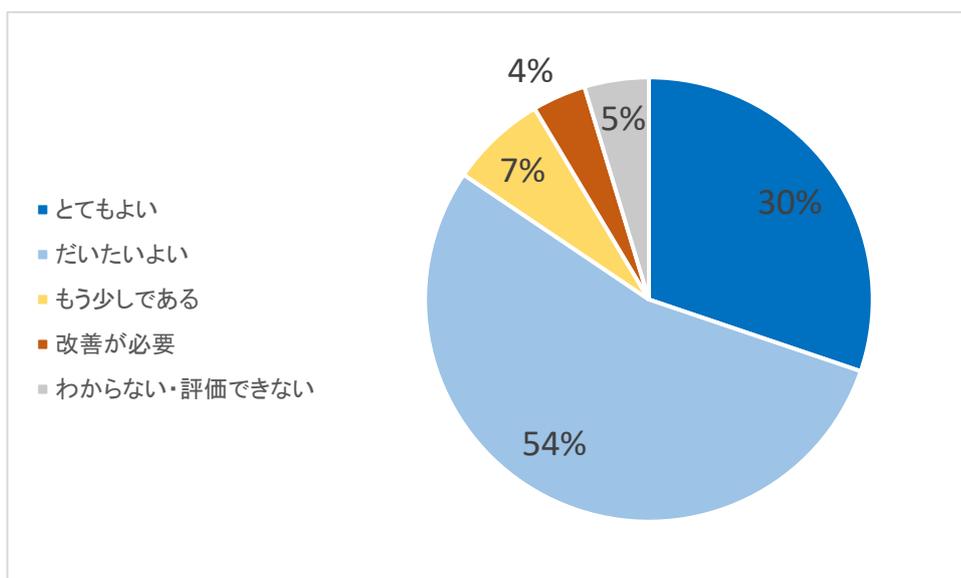
## 【教職員の自己評価・意見等】

- ・今年度は、先生方に協力をしてもらい校内の環境美化を少しずつ進めている。引き続き行っていきたい。身の回りの整理整頓、使ったら片づける、落ちていた物は拾う、不要な物は置かないなど大人が手本を見せ、子供たちもできるようにしていきたい。

- ・刺激になるものも多くなよと思う。自然に囲まれていて、良い雰囲気だと感じる。
- ・ユニバーサルデザインを意識した教室になっていると思います。
- ・支援が必要な児童のために支援員さんを増やすことが可能であれば、もう少し落ち着いた学習環境づくりができると思います。
- ・安全面には校内はとて整備しています。校庭のコースロープ問題はどうかしないといけません。
- ・清掃がなかった日の放課後及び翌日の朝などに、クラス内の清掃を簡易な形で行なってはどうか。
- ・階段と廊下がすぐに汚くなるのが気になる。また、学校の門や昇降口に鍵がかかっておらず、防犯上の心配がある。遅刻してくる児童もいるが、事務室か保健室まで保護者がきちんと送って引き渡すまでをしたほうが良いと思う。
- ・ろうか、階段歩行（右側歩行）などが徹底できておらず、ぶつかることもあって危険なため。年間を通じて徹底して指導していくことが必要だと考える。

《保護者アンケート回答》

とてもよい	だいたいよい	もう少しである	改善が必要	わからない 評価できない 未記入	計
39人	70人	9人	5人	6人	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- 校内や校庭はいつも綺麗にされていてとても良いと思います。
- 安心して通学できる。
- ◇もっと通学路の安全確保（横断歩道での見守りなど）をお願いしたい。
- ◇校門からいつでも誰でも入れてしまうのが少し気になります。校舎内で気になる大人がいるときに職員の方が遠巻きに観察されているときがあります。不審者かどうか積極的に声かけして下さって、問題ないと思います。是非「こんにちはどうされましたか」と目があることを伝えてほしいです。
- ◇トイレを全て個室の洋式にしてほしい。
- 校庭に刺さっている釘が少し上に出ていることを指摘したにも関わらず、中々直さない。
- 登校時間帯、学校の前が通行規制されているのに無視し通行する車をよくみかけるので、危ない。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・登下校の安全については、PTA 会長にいつもいろは坂上に立っていただき大変感謝しております。アリタ写真館前については現在誰も立っておらず心配なところですが、地域の方や保護者の方の協力をお願いしたところですが、持続可能な方法を検討していかなければならないところです。
- ・校庭の釘については、体育主任を中心に点検を行いました。コースロープのゆるみなど課題もあります。今後も安全点検を定期的に行い、学校での活動ができるよう、日々の整備・清掃を継続してまいります。

## 【項目 5】

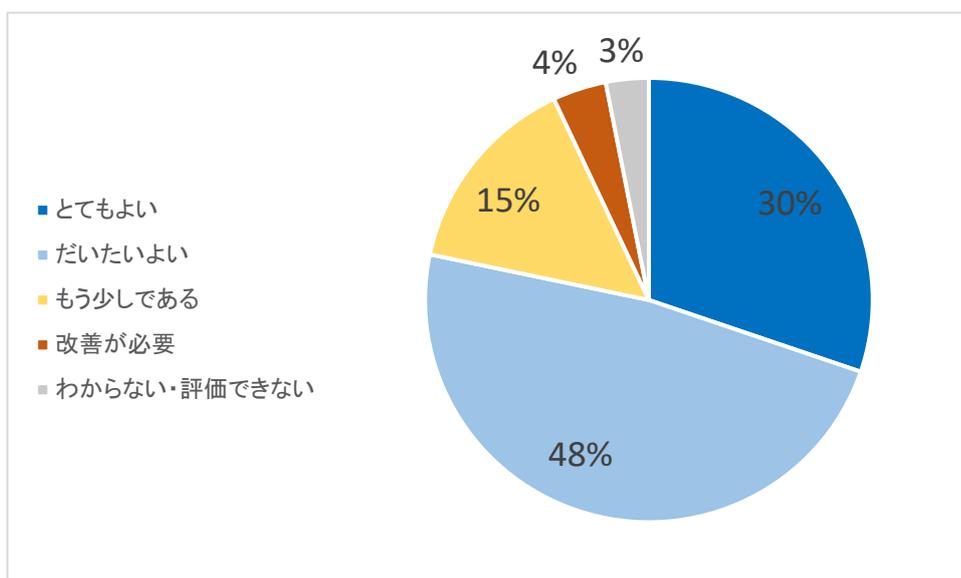
学校は、クラスや学校の様子を積極的に伝え、家庭・(地域)との連携に努めている。

### 【教職員の自己評価・意見等】

- ・タブレットの活用が増えたことで、写真や学習内容 teams など学校の様子や連絡を伝えることが容易にできるようになった。
- ・毎日引き渡しの際に、今日の様子を話したり、電話連絡やさくら連絡網での連絡手段もあつたりと、家庭との連携に努めている。学校としても、家庭や地域と連携するために様々な手段やイベントがあるので良いと思う。
- ・さくら連絡網できめ細やかに連絡できるようになりました。特に宿泊学習の時に写真付きで様子を知らせたメールは保護者に好評でした。
- ・ホームページが毎日更新されていて、学校の様子がわかりやすい。さくら連絡網では、随時保護者に連絡ができ、閲覧確認もとれるので大変便利。
- ・どの学年もさくら連絡網を活用し、保護者へ連絡をこまめに行っている。(昨年度と比較して)
- ・個人的にはもう少しである。毎月の学校だよりや HP では他学年の活動の様子がよく伝わってきた。
- ・ホームページに学校の様子を配信していただいております。もっとみなさんに見てもらいたいです。
- ・今よりもっと伝えるべきだと感じてはいる。必要最低限しか連絡していないような気がする。クラスの雰囲気写真等で家庭に伝えるとかは難しいのでしょうか。(さくら連絡網等で)

### 《保護者アンケート回答》

4 とてもよい	3 だいたいよい	2 もう少しである	1 改善すべきである	0 わからない 評価できない 未記入	計
39人	62人	19人	5人	4人	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- 学級懇談会や保護者面談などで写真をたくさん見せてもらえて、普段は見られない姿が見れて嬉しかった。
- いつも丁寧に関わっていただき、感謝しております。ご多忙の中、連絡ノートや電話等、何かある時には状況や子どもの様子等を丁寧にお知らせしていただき、とてもありがたく思っております。
- 鹿野山や修学旅行、校外学習等ではさくら連絡網で様子を発信してくれ、帰宅時間帯等、いつもと違う環境でも安心できました。
- 面談で話を聞けて良い。
- 普段も何かあると先生に話せる環境で、懇談等で教えて頂ける為。
- 学年通信とHPでわかる。
- ◇個別の子供の詳細について面談以外でも知れたら嬉しいです。面談以外で知れないのは子供に問題がない証拠なのかドライなのか区別がつかず、個人面談を受けるまでモヤモヤしておりました。
- 地域との連携とは回覧板で学校の様子を見せることくらいしかわからない。学校より子供や他の保護者からクラスの様子を聞くことが多い。
- 月一の手紙と毎日更新される写真1枚しか様子が知れない。
- クラス便りなどもなくなり、クラスなどの様子が子供からの話からしか分からない。学年便りは、用紙でほしいです。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・「さくら連絡網」につきましては、2年目となり活用が広がっております。配信の数が増えていることから市の行事のチラシや学校からの重要なお知らせなど保護者の皆様にわかりやすく配信する必要を感じております。
- ・学校におけるペーパーレス化が求められていることに伴い、学校から発信する各種便り等は、紙媒体から、さくら連絡網による送信、ホームページへの掲載に移行いたしました。御不便を感じられる方もいらっしゃると思いますが、何卒、御理解をいただきますようお願いいたします。
- ・学校のホームページには、毎日学校の様子を更新しています。毎日1枚ではありますが、学年の偏りのないような様々な写真を掲載しております。ぜひ御覧ください。

## 【項目6】

学校は、授業や宿題、家庭との連絡において ICT の利活用の推進に努めている。

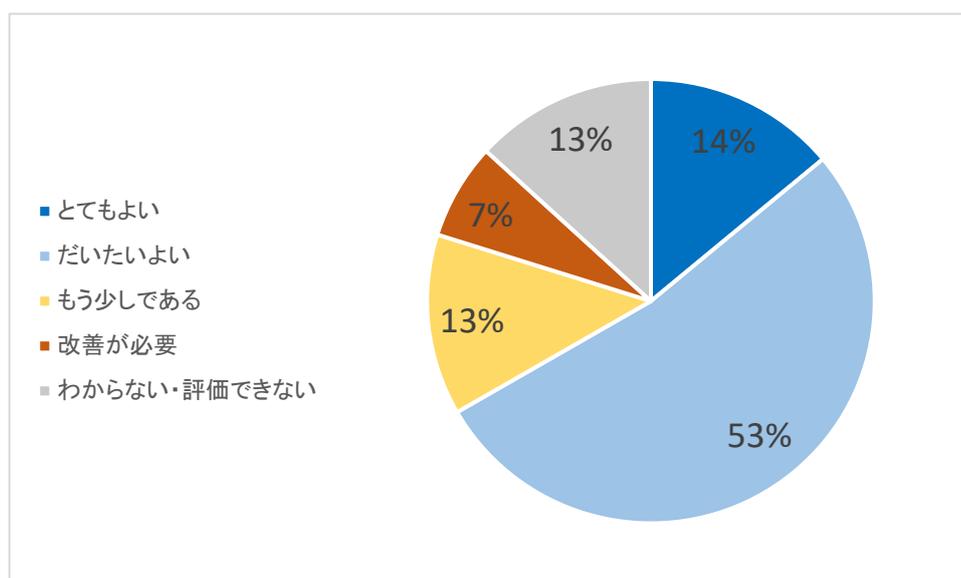
### 【教職員の自己評価・意見等】

- ・かなり ICT の推進は図られているが、まだ学級差があるのも事実かと思う。e ライブラリの活用などクラス差が見られる。
- ・どの先生も積極的に ICT を活用している。今後も継続していきたい。
- ・e ライブラリがあることで、ドリル後の習熟や、宿題などで、繰り返し学習に取り組めてよかった。タブレットや teams で連絡や図工の作品などをご家庭に見ていただいたりもできた。
- ・タブレットの使用においては、教員・児童ともに様々なソフトやアプリに慣れてきたこともあり、授業で有効活用できる機会が増えた。紙との使い分けが難しい場面もあるが、都度最適な方法を見つけながら引き続き進めていきたい。
- ・宿題における ICT の利活用については、これから検討していきたい。情報モラルや情報リテラシー等の指導については、計画的に進めていく必要がある。
- ・授業内での活用には取り組んでいるが、ネット環境が整っていない家庭もあり、宿題での活用はあまり進まない。

- ・宿題において ICT を活用することがほとんどできませんでした。次年度は積極的に使っていないと子供達が上手く活用できないかもしれないと感じました。
- ・ICT の活用に熱心な先生が多く、わからないことを質問しやすい雰囲気があるため。不登校傾向の児童の家庭とも、定期的に連絡を取る手段として活用できている。オンライン授業を受ける条件を精選する必要がある。
- ・児童がタブレットの使い方に慣れ、授業で活用できることが増えた。

《保護者アンケート回答》

とてもよい	だいたいよい	もう少しである	改善が必要	わからない 評価できない 未記入	計
18人	68人	17人	9人	17人	129人



《記述欄》 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- タブレットで宿題を見る事により、授業の進み具合や苦手を把握出来てます。
- タブレットでの学習があるのは良いと思う。
- 何をすべきかの連絡ができています。
- ◇オンライン授業がうまくいくような仕組みが欲しい。
- ◇感染症などで様子見で休んでいる時等もオンライン授業できたらなと思う。
- ◇タブレットの重さや、タッチペンが使いづらい面があるので大変だとは思いますが、宿題などでもう少し活用してみるのもありだと思います。
- ◇添付ファイルのミスが多いのでチェックしてから送信してほしい。ICT の活用は大変良い。
- ◇紙媒体を全面廃止し、全て手続き等を WEB 上で完結、ペーパーレス化の導入を推奨します。
- タブレットを有効活用(学級閉鎖時に使用など)できていない。
- タブレットはあまり活用されていないと感じます。日本全国でそのような傾向があると思います。GIGA スクール構想自体が、タブレット PC を配ると言うことが目的になってしまっているのでは？と思いました。
- 家でタブレットを使ってるのを殆ど見た事がない。オンラインの授業も先生によって対応が違う。重たい物を毎日持って帰らせているならもっと活用して欲しい。

【今後の方針】 ※評価を受け考えていることや、これから検討していくことを列挙します。

- ・授業内での ICT 活用はかなり進んでおります。ここ数年で授業の様子は激変していると感じております。しかし、御意見として多く上がっていたのが家庭での活用についてです。通信環境の違いなどを理由として、宿題としての使用が授業よりも遅れているのは事実です。今年度はデジタルドリルも導入されていることから今後はタブレットを活用した宿題を増やしていく予定です。しかし、御意見にもあったとおり、タブレットありきになっては本末転倒ですので、教育効果をしっかりと見極めていくことも重要と考えております。通信環境について不安のある御家庭は学校に御相談ください。
- ・オンライン授業については様々な御意見をいただきました。病欠の時には体調優先でオンライン授業は行わないこととしています。しかし、オンライン授業に対する考え方は学校も含め、保護者の方の考え方にもかなり違いがあるように見受けられます。子供たちの抱える事情も様々で、一律に線を引くことは非常に難しいのですが、オンライン授業の要件をさらに整理し、どの学級でも揃えることが必要と考えております。学校だより等で次年度早々に示していきます。ただし、担任不在の場合や、専科の授業、移動教室の場合など、全ての時間が提供できるわけではないことを御了承ください。

【自由記述】 ※学校全体に関わる内容のものを取り上げます。

- クラスや学年の先生に限らず、たくさんの先生が子どもに声を掛けてくれると話している。たくさんの目で見てもらえて親子共に安心感がありありがたい。
- 日々様々な問題が降り注ぐ中、先生方に頑張ってください感謝しています。不平不満を言う方もいると思いますが、それは一部の方で、大多数の保護者は先生方の頑張りに感謝しています。無理をし過ぎず体を大切にしてください。先生方の健康こそが一番学校をよくするものだと思います。
- 子どもが自主的に朝の委員会活動の早起きを頑張ってくれました。ありがとうございました。朝、何かお役に立てる事があれば掃除でも構わないので朝活動があると活気づいて子どもも役割や責任を与えられると成長につながるのかな、と思いました。
- ◇冬の体育の授業は、半袖半ズボンである必要はないと思う。
- ◇今後、暑い季節のお弁当や屋外屋食は、やめてほしい。食中毒や熱中症が心配。校外学習では、現地で食事をとってほしい。また、校外学習等水筒は空になるので、PTAの補助等でペットボトル飲料等子供に提供してほしい。
- ◇こんな事を言ったら、キズつく！とか、人の気持ちを考えられる子になれるようにして欲しいです。道徳の授業とかでやったらいいと思います。
- ◇行事の中止は、早くご連絡頂けたらありがたいです。
- ◇また、忘れ物を教室まで届けるようになりましたが、保護者の確認など、不審者への対応をしっかりして頂けたらと感じました。
- ◇先生方も一生懸命なのは理解していますが、新卒の先生とベテランの先生では、子どもの授業や生活態度などの指導に偏りがあると感じてしまうので、学校全体でフォローをするなり、無理なら教員を増やす等して先生の負担を減らしつつ、子どもをみてほしいと思う。
- ◇自然を大事にする学校なので、校庭のうさぎの飼育小屋やぺんぎん池や昆虫小屋などもう少し活用したらいいのではないかと思います。
- ◇学校にちゃんと登下校できたか心配になるので、アプリ等で登下校をお知らせしてくれたら嬉しいです。
- ◇学級閉鎖や先生がお休みされる際に、学習内容が遅れないような体制づくりをお願いしたいです。
- 保護者面談の時間が10分では短い。担任が一方向的に学校の様子を話して、何かありますか？の時にはもう時間になってしまう事が多い。

- 登下校時間以外は、門に施錠するなど、防犯対策がもっと必要だと思います。いつでも、誰でも学校内に入れるのは、今のご時世、大変危険だと思います。
- 持久走記録会を学年別で別日に開催するのはやめてほしい。大半の親が仕事をしているのに別日にされると兄弟がいる家庭は物凄く困る。
- 学校のパソコンでYouTube を見たり、TikTok を見たりするのは良いことではないと思います。どちらにしても、家庭によって見せていない、見せたくない等の教育本心の方もいらっしゃると思うので、学習としてパソコンを利用するのであって娯楽のためではないと思います。パソコンを与えっぱなしではなく、与えたからには、SNS 等含めてインターネットとどう向き合っていくのか、学校でもきちんと教えないとトラブルの元になると思います。
- ペーパーレス化は資源を守るために大切だと思うが、学校日より、学年日より、献立表、冬休みのしおりは紙で配布してほしい。希望者だけでも配布してほしい。
- インフルエンザに罹患されてお休みされている先生に自宅からのオンライン面談をさせることは辞めていただきたいです。先生の体調を第一に考えて面談をキャンセルしたという声をたくさん聞きましたし、実際にキャンセルしました。まずは先生の体調の回復が最優先だと思いますし、そうであってほしいです。

保護者 様

保護者の皆様におかれましては、お忙しいところ御回答いただきまして、本当にありがとうございました。本年度の取組に対し、御評価いただいた点や励ましのお言葉は、大変心強く、嬉しく受け止めております。職員一同、今後の糧といたします。また、学校をよりよくするために、様々な角度から多くの御意見をいただいたことにつきましても、心から感謝申し上げます。これら一つ一つを真摯に受け止め、全職員一丸となって検討し、襟を正して今後の教育活動を推進してまいります。子供たちの学びをどのようにしていくことがより高い教育効果につながるのかを常に考え、実践していく所存です。

来年度は、創立70周年を迎えます。保護者の皆様には、これまでの御協力に深謝すると同時に、今後も変わらぬ御理解・御支援をいただきますようお願いいたします。

令和6年2月

習志野市立実籾小学校